

2015.11.19

Mie Infection Control Network (MieICNet)

日常的な感染対策の相談支援



三重県院内感染対策ネットワーク
南島メディカルセンター 松島由実

厚生労働省 主な院内感染対策施策の動向



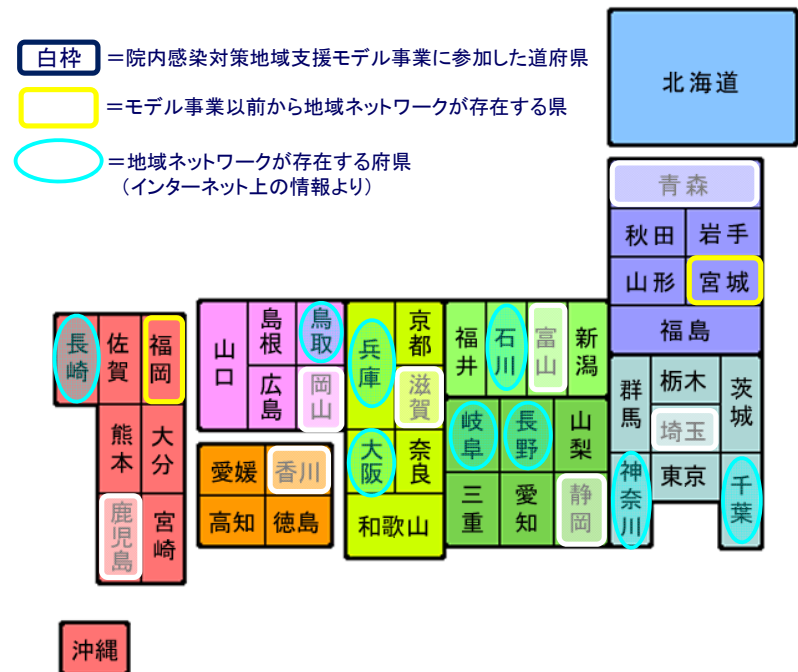
院内感染対策地域支援ネットワーク モデル事業(抜粋)

【概要】

院内感染対策の取組みが遅れている中小病院等に対して、地域の専門家からなるネットワークの構築等により、速やかに相談・助言できる体制を整備

【事業内容】

- (1) 地域の医療機関から寄せられた相談に対して、各地域支援ネットワークが日常的に対応する。
- (2) 各地域支援ネットワークは、相談事例について、解析・評価を行い、その結果を還元することにより、地域における院内感染予防対策に反映させる。
- (3) より高度な技術的知識が要求される相談が生じた場合は、各地域支援ネットワークからの要請に基づき、厚生労働科学研究班が専門的なアドバイスを行う。
- (4) これらの他、地域の中小医療機関を支援する施策を行う。

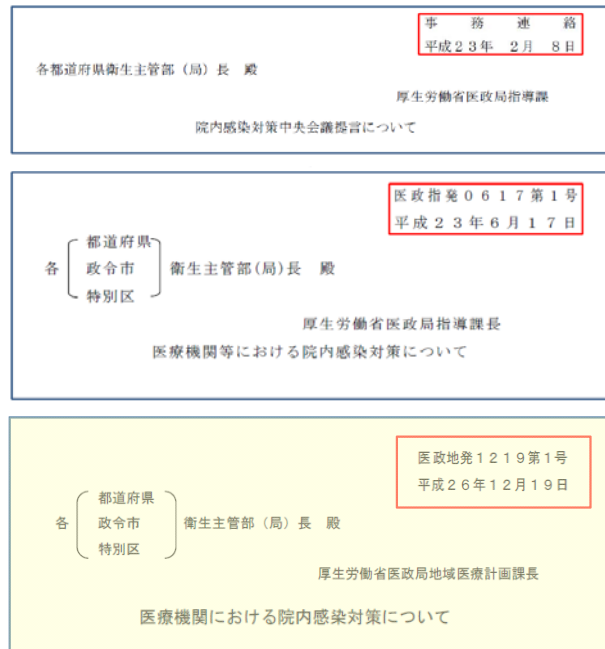


医療機関における院内感染対策に関する留意事項

(平成26年12月19日)

- 院内感染対策の体制について

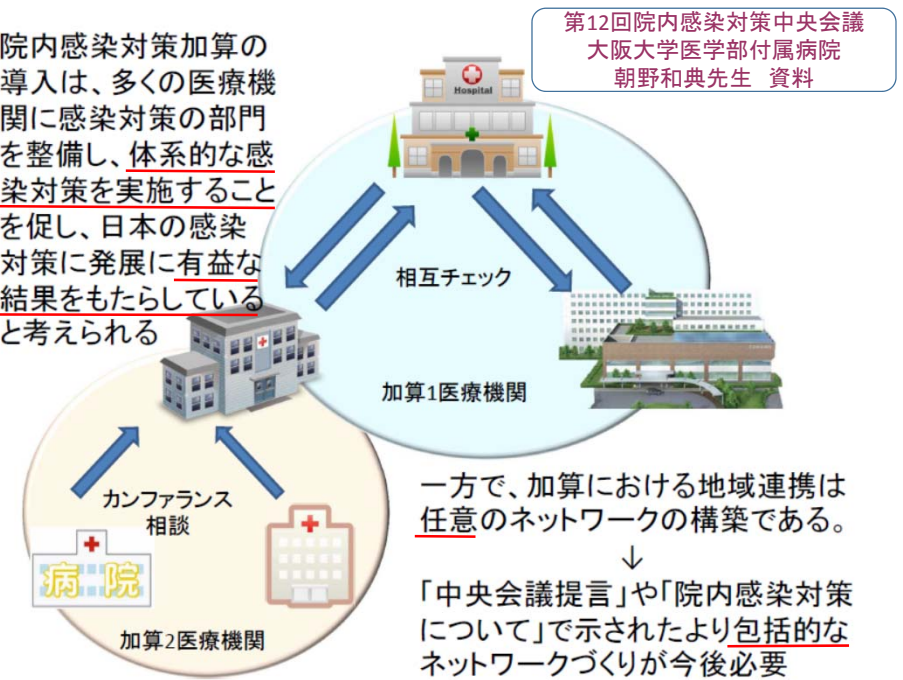
多職種による病棟ラウンドが困難な医療機関は、**地域の専門家等に相談できる体制を整備する。**
- 基本となる院内感染対策について
 - アウトブレイク時に連携・支援がなされるよう、**医療機関相互のネットワーク**を構築し、日常的な協力関係を築く。
 - ネットワークの拠点医療機関として、大学・国立病院機構傘下・公立・中核・学会指定などの医療機関が中心的な役割を担うことが望ましい
 - 地方自治体**は、保健所や地方衛生研究所を含めた地域ネットワークを整備し支援する。
 - 地方衛生研究所等**において、適切に微生物検査ができる体制を強化する。
- アウトブレイクの考え方と対応について
 - 対策後に新たな発生を認めた場合、地域ネットワークの専門家に拡大防止に向けた支援を依頼する。
 - 連絡を受けた保健所は、対応の効果や地域の支援状況を確認、指導を行う。
 - 連絡を受けた保健所は、都道府県、政令市等と連携をとる。検査が必要な場合は、地方衛生研究所や国立感染症研究所などと調整することが望ましい



第12回院内感染対策中央会議での論点

- ✔ **地域連携について**
 - 緊急時に地域の医療機関同士が速やかに連携して、各医療機関の対応への支援が行われるようにすることが重要であるが、対応を確実なものとするために、地域連携のハブとなる医療機関にはどのような役割が求められるか。
 - 今後の地域連携のあり方はどのような形が考えられるか。
- ✔ 感染制御における感染管理看護師の役割について
- ✔ 医療機関に求められるアウトブレイク対応について
- ✔ 抗菌薬の適正使用について
- ✔ サーベイランスの強化について

院内感染対策加算の導入は、多くの医療機関に感染対策の部門を整備し、体系的な感染対策を実施することを促し、日本の感染対策に発展に有益な結果をもたらしていると考えられる



一方で、加算における地域連携は任意のネットワークの構築である。

↓
「中央会議提言」や「院内感染対策について」で示されたより**包括的なネットワークづくり**が今後必要

加算にとられない地域ネットワーク構築

加算参加施設だけでなく、地域全体の医療関連施設を結んでいくという広い視野に立った総合的なネットワークの構築が必要不可欠



MieICNetにおける看護師の役割

- ◆ 日常的な感染対策への相談支援
- ◆ コンサルタントの窓口機能
相談・問い合わせ・情報提供などへの対応
- ◆ 団体への広報
- ◆ 運営会議メンバー、専門家との連絡・調整
- ◆ 定期的な研修会での報告(相談支援件数等)



Mie Infection Control Network (MieICNet)

1. アウトブレイク支援 [全職種]

各医療機関においては、アウトブレイクが発生し、対応困難な事態が発生した際、MieICNet参加の医療機関の中から専門家(医師・看護師・薬剤師・検査技師等)を派遣し、改善支援を行う。
・疫学的調査、改善策の立案、院内職員や外部への対応等の支援

2. 日常的な感染対策への相談支援 [全職種、主に看護師]

各医療機関から感染対策上の質問を受け付け、MieICNet参加の医療機関の中から専門家(医師・看護師・薬剤師・検査技師等)がアドバイスを行う。
・メール/FAX等で質問を受け付け、各分野の専門家が回答
・共有すべき情報があれば、web上でQ & A集を公開

3. 微生物学の情報収集・検査の支援 [主に検査技師]

各医療機関で実施できない特殊検査等を受付、検査可能な医療機関において実施
・三重県院内感染対策サーベイランス(Mie Nosocomial Infection Surveillance: MINIS)
・三重県内の入院医療機関を対象に微生物情報を収集し、細菌の検出状況や薬剤耐性の状況を地域別、病院機能別で集計し三重県の感染症の発生動向を把握するとともに地域のアンチバイオグラムを作成する。

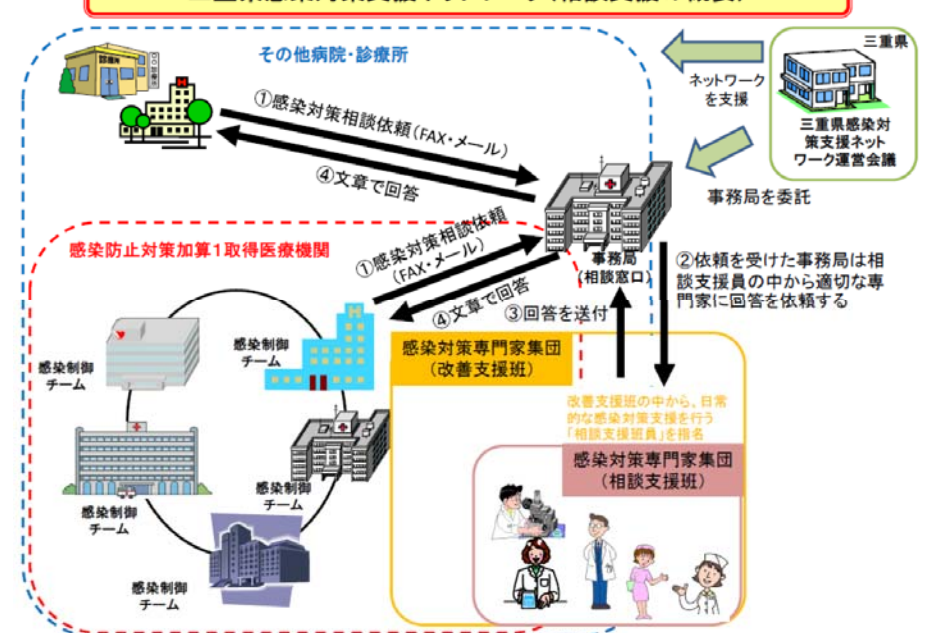
4. 抗菌薬適正使用の推進 [主に薬剤師]

三重県内の医療機関における抗菌薬の使用状況の把握を行う。

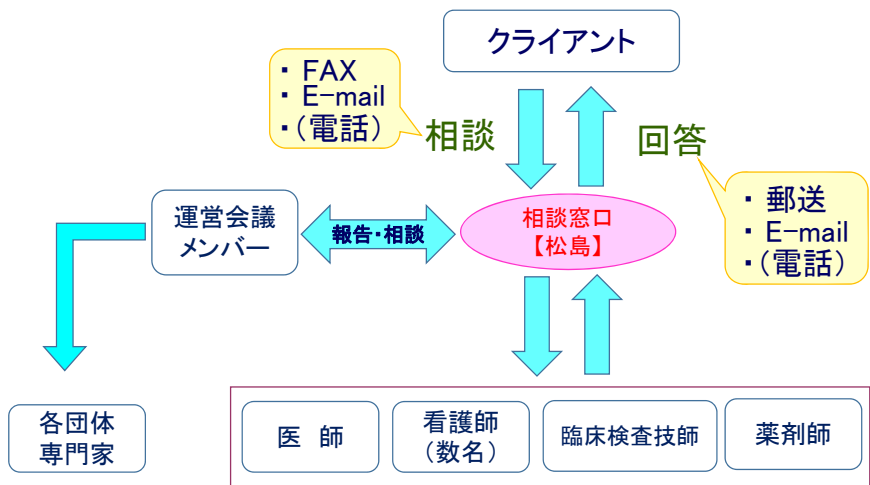
5. 情報共有

感染症、感染対策に関連する情報をメール等で定期的に配信することや、web上で関連情報を公開する。また、定期的に講演会を開催し、情報共有を行う。

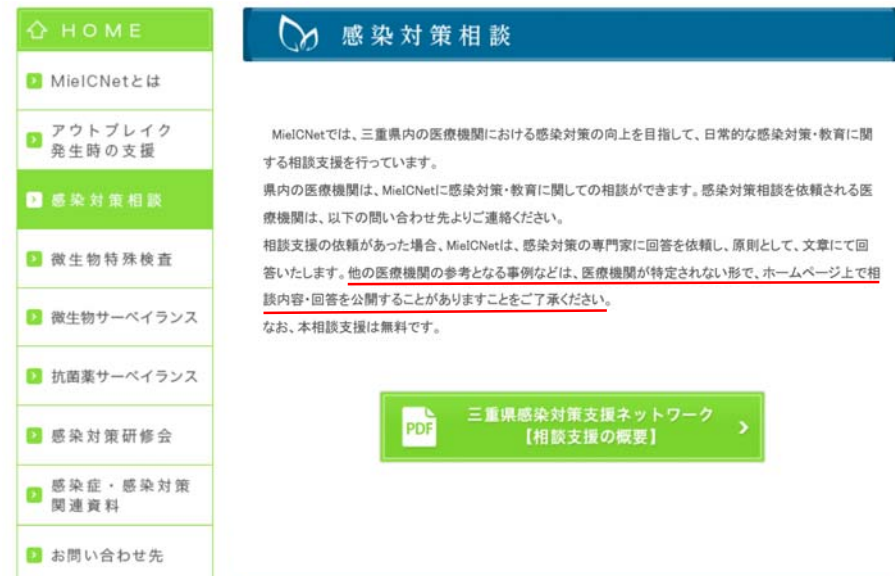
三重県感染対策支援ネットワーク(相談支援の概要)



日常的な相談支援のイメージ図



※事務手続き、問い合わせ、各専門家への相談についても窓口を経由



今後の検討課題

- ◆ホームページ上での相談内容、回答の公開
- ◆クリニック、高齢者施設、在宅などへの普及
- ◆各医療機関の事務所との連携
- ◆各医療機関が活用できるリーフレット等の作成
- ◆看護師部会の開催

Mie-ICNet 感染対策相談票

(No. _____) ※受付窓口名簿欄

【相談年月日】	平成 年 月 日
【施設名称】	
【施設概要】	<input type="checkbox"/> クリニック
	<input type="checkbox"/> 病院病床数 (床)
	<input type="checkbox"/> 高齢者/福祉施設病床数 (床)
	<input type="checkbox"/> その他 ()
【担当者名】 (国名章)	氏名: _____
	<input type="checkbox"/> 管理者 <input type="checkbox"/> 感染対策委員 (GOTメンバー) <input type="checkbox"/> その他
【連絡先】	TEL _____
	Fax _____
	E-mail _____
【相談内容】	

